

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

- (１) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (２) 記号
- d…異形棒筋の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径
 ④…筋隔 r…半径 Q…中心線 L…部材間の内法距離 h…部材間の内法高さ
 S T…あばら筋 H O O P…帯筋 S…H O O P…補強帯筋 φ…直径又は丸鋼

２．鉄筋加工、かぶり

(１) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	5d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)

折曲げ内法寸法は、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は3d以上、D19以上は4d以上

※片側スラブ上端部の処理

(２) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度以下90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(L)
	帯筋	SR235 SD295A SD295B SD345	16φ以下 D16	3d以上
	上配以外の鉄筋	SR235 SD295A SD295B SD345	16φ以下 D16 19φ～25φ D19～D25 28φ～32φ D28～D32	4d以上 6d以上 8d以上

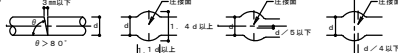
(３) 鉄筋の定着および重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L)
		一般(L)	下ば筋(L)	
SR235	21～36	35dフックつき	25dフックつき	35dフックつき
	18以下	45dフックつき	15mフックつき	45dフックつき
SD295A SD295B SD345	21～36	35dまたは25dフックつき	25dまたは10dかつ15dフックつき	40dまたは30dフックつき
	18以下	40dまたは30dフックつき	15dフックつき	45dまたは35dフックつき

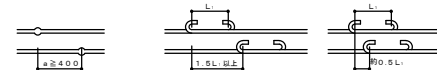
継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

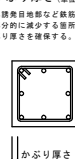
ガス圧接形状



圧接継手



(４) かぶり厚さ(単位:mm)



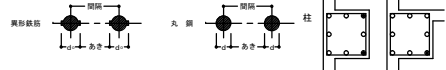
かぶり厚さ

部 位	設計かぶり厚さ(単位:mm)		構造部材の厚さ(単位:mm)	
	厚 度	厚 度	厚 度	厚 度
土に接しない部分	屋根スラブ 非耐力壁	厚 内 30 厚 外 40	30 (20)	30 (20)
土に接する部分	柱 はり 耐力壁	厚 内 40 厚 外 50	40 (30)	40 (30)
	梁 柱・はり・床スラブ・耐力壁	厚 50 厚 50	50	40 (30)
基礎	基礎	厚 70	60	60

- (１) 耐久性能向上のため、基礎、柱、耐力壁の断面に、30mmとすることができ、
- (２) 耐久性能向上のため、基礎、柱、耐力壁の断面に、40mmとすることができ、
- (３) コンクリートの品質および施工方法に、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができ、
- (４) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
- (５) () 内は土上における場合。

(５) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、
 粗鋼材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



(６) 鉄筋のフック (aに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

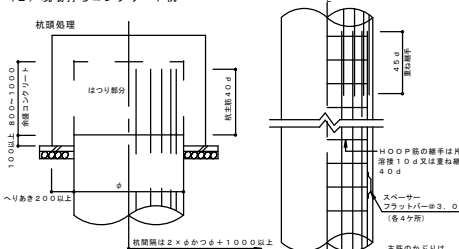
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
 d. 柱、梁 (基礎梁を除く) の出すみ部分の鉄筋 (右図参照) 梁
 e. 単独梁の下端筋
 f. その他、本配筋標準図に記載する箇所

３．杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(１) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

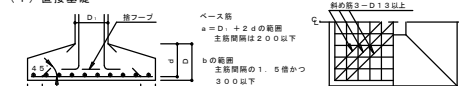
所定の位置に止まった場合	所定より低く止まった場合
杭 径	300φ、350φ、400φ
補強筋	6-D13、8-D13、10-D13
H O O P	D10～D15

(２) 現場打ちコンクリート杭

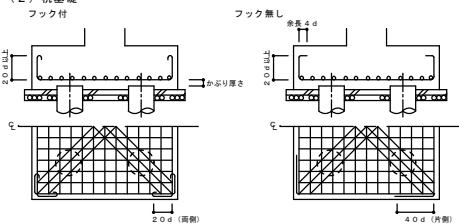


４．基礎

(１) 直接基礎

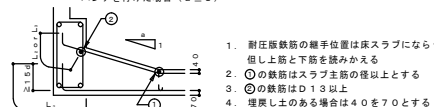


(２) 杭基礎

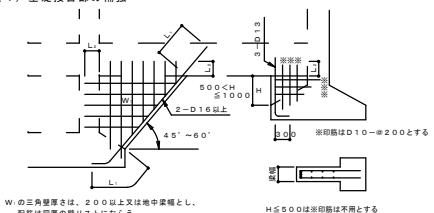


(３) ベタ基礎

ハンチを付けた場合(a≧3)

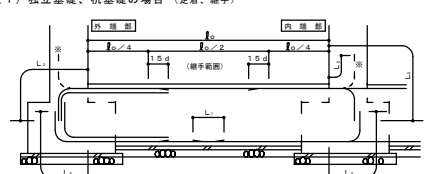


(４) 基礎接合部の補強

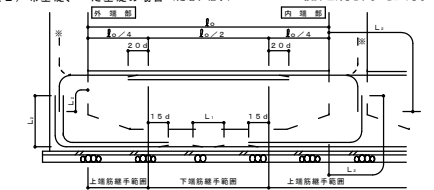


５．地中梁

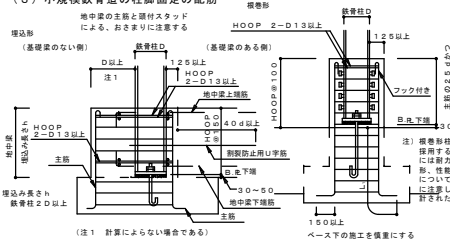
(１) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



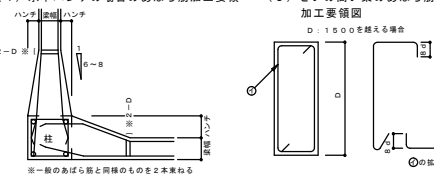
(２) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



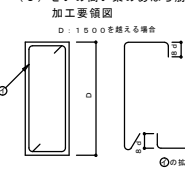
(３) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋



(４) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

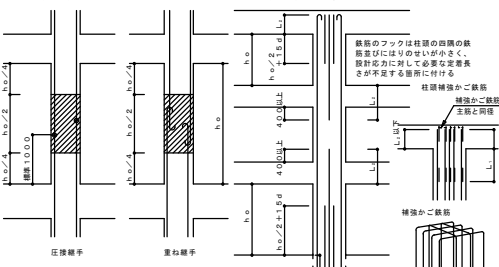


(５) せいの高い梁のあばら筋加工要領

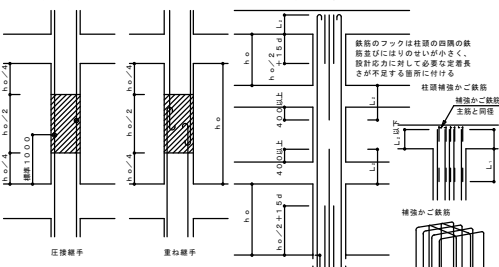


６．柱

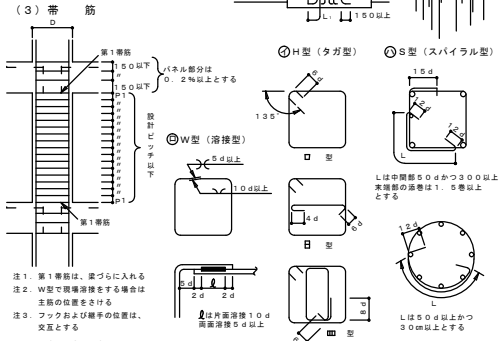
(１) 柱主筋の継手



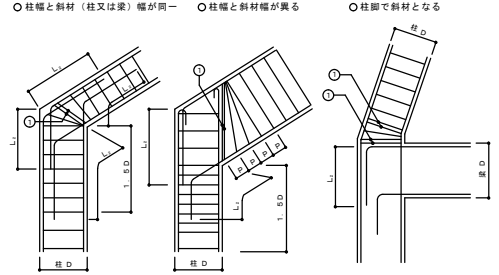
(２) 柱主筋の定着



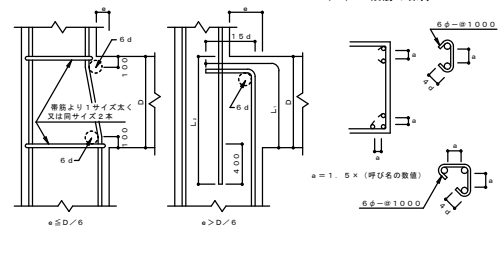
(３) 帯筋



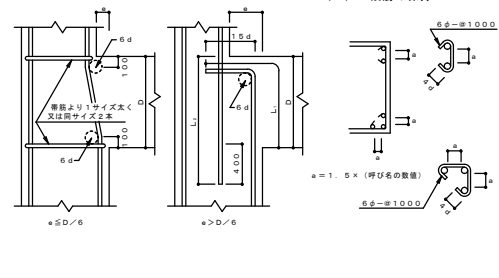
(４) 斜め柱・斜め梁



(５) 絞リ



(６) 二段筋の保持



〒259-1305 桑野市堀川13-2
 (株) 岩田幸司設計事務所
 1級建築士事務所
 TEL 0463-88-3007

版次

設計年月日

工事種別

図面番号

平成17年度桑野市くず青少年野外センター再整備事業活動棟建築工事

活動棟 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

図面番号

S-02